

北海道

友の会 ニュース

No.6 1973.7.5

筋無力症友の会北海道支部
札幌市 TEL



7月29日(日)

集団無料検診実施!!

北海道支部 = 7月28日(土) =

才2回総会で会いましょう!!

会員の皆さん、ご家族の皆さん、お元気ですか？
 今年の北海道は、涼しくて、雨が少なく、カラッとしていて、とてもいいですね。作物にはよくないようですが、
 東京からもどってきて、ああ、北海道ってこんなにいいのが、などと改めて感激しました。空気がとてもおいしいのです。そして、あの、じめじめとして、痲苦しく汚れた空気の中にいる東京の患者さんが、とてもとても気の毒に思えました。

早いもので、北海道支部ができてから、この7月30日で満一年になります。支部の事務所では、まるで戦場のような一年間だったような気がします。今も、道難病連や生活実態調査、機関誌の発行、ETCを控えてあわただしい毎日です。そんな中なので、充分な用意はできないかも知れませんが、久しぶりで支部の会員と家族が集って、お話や、情報の交換、相談などを食事を一緒にする中ですごしたいと思います。

才2回 支部総会

- とき 7月28日(土) 午後3時より8時まで
- ところ 国家公務員宿舎 清楓荘 (札幌市北6条西17丁目東向)
- 会費 1,000円(の子定) 但し、食費代です。(小学生以下不要)
- 宿泊 1泊(朝食付) 900円(小学生以下不要)

< 参加申し込みは、同封はがきにて、7月20日まで >

お2回 総会 プログラム

○ オ一部 ○

1. 一年間の活動の報告
2. 規約の一部改正
3. 活動方針と総会決議
4. 支部委員の改選
5. 来賓のあいさつ

○ オ二部 ○

- 医療相談
- 会食



全国筋無力症友の会 お2回 全国大会

6月17日(日)、むしあついで中を、東京都勤労福祉会館で約100名の会員と多数の来賓、多勢のボランティアの方々の応援で熱心に、かつ盛大に開かれました。

結成以来2年間の活動の報告を武田会長が行い、浅野副会長(大阪)の提案で大会決議を採択しました。

お2回総会は、この他に、齊木副会長をはじめとする若干の役員の補充を行いました。尚、総会の議長は伊藤(道支部)が務めました。



全額公費負担制 …… 実施が遅れます



大変期待していた全額公費負担制の実施は、日本医師会の反対と厚生省、道庁生部のサボタージュによって、大やにその実施が遅れ、見通しがつかない状態です。友の会支部では、道難病連と共に、強い不満の意を表し、道に対し、一日も実施を早めるよう要求をしています。

実施が遅れるのにもなって、患者の立て替え払いの期間が一層増えますが、行政の怠慢を、一番弱い患者と家族にシワ寄せすることは許せません。道難病連では、各大病院事務長宛に、患者への請求を差し留めるか、又は、病院が実施までの期間中、立て替え払いをするよう要請しました。高額な請求を受けて、お困りの方は、ぜひ支部へご相談下さい。

道難病連主催

第一回 集団無料検診!!

- と き 7月29日(日)午前11時～午後3時
- ところ 市立札幌病院 4階大講堂
- 対象疾病 筋無力症 他
- 検診にあたる先生 市立札幌病院 宮田先生
北大病院小児科 奥野先生 他
- 検診料無料

- ⊗ 北海道で初めての検診です。ぜひご参加下さい。
- ⊗ 当初、来道が予定されていた宇尾野先生は、都合により来道できなくなりました。
会員の皆様に深くおわび致します。



筋無力症研究会が用かれます

宮田先生の研究発表を中心に、筋無力症の研究と治療にあたっておられる先生方に、ぜひ研究をもう一步すすめてもらうために、支部で主催する研究会を開きます。

医師を対象としたものですが、関心のある方はぜひご参加下さい。

- と き 7月30日(月)午後6時～9時
- ところ 北海道厚生年金会館3階大雪の窟
(札幌市北1条西12丁目 TEL 231-9551)
- 講演研究報告 立札幌病院小児科医長 宮田 亮先生
- 会費無料



尚、同封しました研究会の案内状は、現在、あなたが治療、投薬をうけている主治医の先生に、ぜひ直接手渡してご出席下さるようお願いして下さい。

全国筋無力症友の会運動方針

私たちの友の会は、発足以来、会員同志のほげましと助けあい、医療の交換などを中心として活発に運営され、それが筋無力症の全額公費負担の適用をかちとるという大きな成果を得ることができました。しかし、この公費負担制度は、まだまだ不完全であると言わなければなりません。患者と家族にとっては、未解決の問題がいっぱいあります。健康保険の問題、生活保証の問題、社会復帰の問題、どれ一つとっても、大きな問題であり、少数の筋無力症の患者の声だけでは、要求を実現させることはできません。私たちの訴えと要求を行動として多くの国民に知らせ、理解してもらい、支援してもらわなければなりません。そして、それは、多くの国民にとっても利益となることになればなりません。動ける会員と動けない会員と家族の方で、大会決議の要求を一つ一つ実現させるために、ぜひ、会の運営に積極的に関心をもってすすみましょう。

全国筋無力症友の会一回総会決議

1. 私たちは、人間として、生きる権利があります。

日本の国民は、健康状態や性別、年令を問わず、憲法25条のもとで等しく明るく健康的な文化生活を送ることができると保証されています。しかし現実はそのようではありません。患者、老人、婦人、子供たちの諸々の権利は著しく圧迫され、また剝奪されています。このような状態に国民をおとしめている直接の原因である大資本優先と軍事優先の予算を、明るい福祉社会建設の予算へ、全面的に組み替えることを要求します。また、動けない患者や老人の声を、より政治に反映させるために、在宅投票制度の復活を要求します。

2. 一日も早く病気が治り、明るい生活ができるよう、原因の究明と治療法、予防法の研究をすすめて下さい。

3. 医療制度が国民の利益に全面的に沿うよう改革を要求します。

- (1) 不採算医療制度を実施することを要求します。
- (2) 現行健康保険制度を根本的に改革し、患者家族の負担を大いに減らすことを要求します。
- (3) 地域に専門病院をつくるよう要求します。
- (4) 生活保護基準の引き上げ、生活の保証、免税、交通費の無料差額ベットの廃止、村送料の無料化など、患者と家族が安心して治療に専念できるようにすることを要求します。

- (5) 身障福祉年金の基準が大中継社と全額を引き上げを要求します。
- (6) 鍼灸などの健康適用を認めるよう要求します。
- (7) 全額公費負担制度を一日も早く完全実施すること、その枠の拡大を要求します。

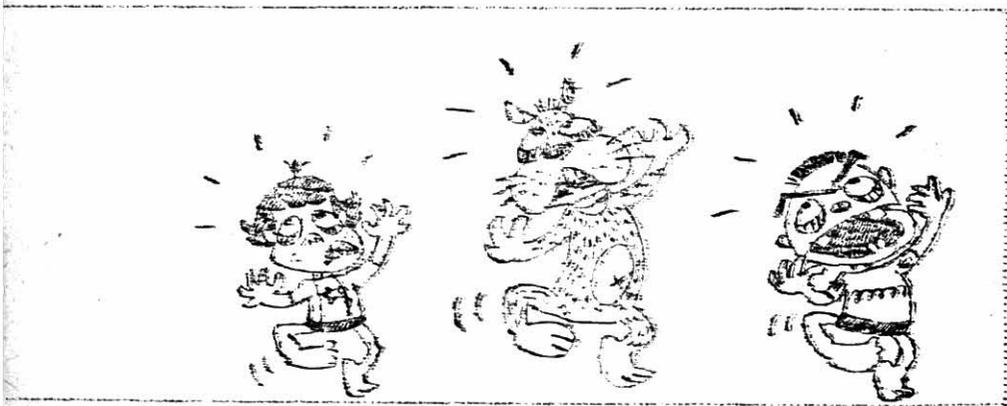
4. 難病をつくり出したのは、国の行政です。

長期の療養、苦痛と死の恐怖、経済的負担と貧困家族の崩壊、この責任は、患者にはありません。

長い間、研究と治療の予算、患者への援護を放置してきた政府が、まさに多くの難病を次から次へと生み出してきたと言えます。

お、公害病や薬害が絶えませんが、それらをつくり出した責任は、政府にあるのではありませんか。

私たちは、国に誠意のある行政を求めます。



このニュースに題名をつけて下さい。

今まで「友の会ニュース」として発行してきましたが、お三種郵便物認可などの都合もあって、何かすてきな名前をつけたいと思います。

分かりやすく、北海道の特徴がでていて、力強さと希望のわくような、そして、やさしさと暖さのあふれているような、そんな題名をつけて下さい。内容も、きっと充実すると思います。

下の中から選んであげてください。

時計台 はまなす 並木 大地 石ころ 雲 みあすてに
しゆめる 牙 野いご かなたの手 える 風 橋ふ あい
レースのカーテン さうななさい 窓の外から 陽ざしと空風 野子
あしおと 雪